



▲高校卒業まで地元・和歌山県で過ごした榎本有花さん。卒業後はNTT西日本の実業団チームに所属して広島市内を拠点に活動し、平成27年度からはどんぐり北広島ソフトテニスクラブの主将として、プレーヤーとしてはもちろん、チームのけん引役としても活躍されています。

### 移住されて、どのくらいですか？

3年目です。どんぐり北広島ソフトテニスができる、最初の1年はNTTにしながらどんぐり北広島として活動していて、次の年の2～3月に移住と転職をして4月からこちらでスタートしたので。監督とコーチ、選手も全員、阿坂（豊平地区）の町営住宅に住まわせてもらっています。

### NTTを辞めて、住居も移して…ということに迷いはなかったですか？

中本（裕二）監督の指導を受けたくてNTTに入社したので、会社どうこうではなく、監督のもとでテニスがかしたい！という思いから、迷いなく決めました。

### 市内とこちらでは、だいぶ違うと思いますが…。

土日はいつも練習で豊平へ通っていたので、よく知ってはいたんですけど、最初はちょっと買い物とかは心配してました。今までは市内に会社があって、お昼休みとか本通りでお買い物したり、ほんとムダづかいしてたんですよ。今まで私たち何をしていたんだろうっていうくらい（笑）。意味なくコンビニに寄ったり。今は、私、豊平に勤務しているんですけど、コンビニもないし、ムダづかいしなくなって、感謝してます（笑）。

みんな今はサクス（注1）のことを「パラダイス」と呼んでいます。あそこ



は何でもある！って。コムズ（注2）も、けっこう何でもあるし。ときどき遠征のときホテル近くのコンビニに行ったら「こんな新商品が出てたんだ！」みたいな感動があって、つい衝動買いしてしまうんですけどね。お金をつかうのは、そのときくらいです。

### 豊平で勤務とのことですが、お仕事は？

基本的には、豊平中央公民館にいます。高齢者学級っていうのがあって、いろんな地域へ行ってボール体操をしたりとかもするんですけど、講座や教室もあるので、そのお手伝いとか準備とかもします。公民館の「男の料理教室」とかは、一緒に入らせてもらってお勉強を…（笑）。着付け教室とかもあるので一緒に入らせてもらって。いろいろ一緒にお勉強させてもらってます。

### 料理を勉強して、自炊を？

月・土・日曜は自炊で、あとはどんぐり荘のレストランで定食を作っていただいています。月曜日以外は毎日21時まで練習なので、そのあと自炊するのは大変だし、栄養が偏る心配もあるということで、監督が考えて下さって。定食がない日も、地元の方が「今日ごはんあるの？」って持ってきてくれたりするので、実際は自分で用意するのは朝とお昼くらいです。どんぐり財団に勤めている子は、お昼もマザーズ団栗子さんのお弁当があったり。マザーズさんにもお世話になってます。

地元の方が野菜を持ってきてくれたり、お米を届けてくれたりとかもあるので、何不自由ない生活をさせてもらってます。ほんと、ありがたいです。

### 練習は、毎日あるんですね。

基本的には月曜日以外、毎日あります。アザレア千代田に勤めている子は7時半～16時半ですが、ほかのみんなは17時半まで勤務があるので、それから豊平運動公園へ移動して、みんなが揃うのが18時半頃。そこから21時まで練習します。土日は9～17時です。月曜日は、休養にしてもいいし自主練やトレーニングにしてもいいし、自由に決められます。時期によっては練習になることもあります。

月に1回、監督が完全休養日をもうけてくれて、「髪を切りに行ったりショッピングに出かけたりしていいぞ」と言ってくれるんですが、2～3回行かせてもらったくらいで、あとは「こっちでゆっくり掃除しようか」とか「布団を干そうかな」とか…。あまり出かけたと思わなくなりました。



### テニス一色なんですね。ソフトテニスと硬式とはぜんぜん違うんですか？

ボールの硬さと、ラケットも違います。硬式は、シングルスは走り回らなきゃいけないとかなり体力がいるので、高齢の方はダブルスがメインに変わってきます。プロになろうと思ったら、小さいころからコーチをつけてマンツーマンで指導を受けたり、いろいろお金をかけていかないとトップにはなれないし。

ソフトテニスは、プロはないけど何歳でも楽しめるし、ラケットやボールの値段も硬式よりお手頃なんです（笑）。だから始めやすいし、子供から大人まで誰でも楽しめるところが魅力だと思います。

シングルスもあるんですけど、主流はダブルスです。シングルスはすべて自分の責任で、それがいいところでもあるけど、孤独な戦いなんですよ。ダブルスだと、自分がダメなときペアに助けてもらったり、逆にペアがダメなときは自分が助けられる。2人で力を合わせたらなんとかなる、みたいなところもあるので、2人で勝っていく喜びも味わえます。

## ペアの2人は、ポジションとか、あるんですか？

前衛と後衛があるんですけど、中本監督の教えはオールラウンドプレーヤーで、前衛も後衛も関係なくやるというのがうちのプレースタイルです。だから前衛でも後衛ができるし、後衛でも前衛ができる。

たとえば私は後衛なんですけど、ペアの田辺（恵理）も後衛なんですよ。2人とも後ろにいるときもあれば、2人とも前に行ったり、どちらかが前にいたりとか、いろんなパターンがあります。この冬場ずっと勝ってる高橋（乃綾）・半谷（美咲）ペアは、一応、高橋が後衛で半谷が前衛なんですけど、2人で前へ行く陣形が多いです。

リスクもあるんですけど、超攻撃型なんです。私たちの陣形。相手はたぶんイヤだと思います。私も、相手がそれだったらイヤです（笑）。でもリスクを恐れて周りはやってこなくて、相手はガッチリ前衛と後衛という形なので、私たちはやりやすいですね。

## それは観戦していても楽しそうですね。

そう言っています。11月に北広島カップというのが豊平であって、実業団リーグ1位と日本リーグ1位っていう、サッカーでいうJ1・J2の1位みたいなチームを呼んだんですけど、そこでけっこう圧勝したんですよ。私たち。そのときもたくさん（観戦に）来ていただいたし、山口・宇部であった全日本選手権大会のときは、豊平公民館でバスをチャーターして30人くらいの方が応援に来てくれて。

チームカラーであるピンクのハンカチを持って、点を取るたびに立ち上がって回してくれて…。今までそんなことはなかったのでビックリしたみたいで、「あの集団は何ですか」って会場でウワサになってました（笑）。すごい威圧感で、相手は、すごい嫌だったみたいです。

逆に、私たちは点を取るたびにワ～ッとなるからすごく力になりました。あれは盛り上がりましたね。

今年も11月、そばまつりと同時開催で「第2回北広島カップ」が開催されるので、ぜひ来てください。



豊平中央公民館には、あちこちに「どん北」を応援する旗などが掲示されています



## 榎本さんご自身は、いつからソフトテニスを始めましたか？

小学校1年生のときからなので、もう20年になります。保育園で出会った友だちのお母さんがずっとソフトテニスをされてた方で、友だちに誘われて始めました。その子はすぐ辞めちゃったんですけど（笑）。当時はピアノとソフトテニス、あとなぜかコーラスもやっていたんですけど、しっくりきたのがソフトテニスだったんですよね。もともと体を動かすのが好きだったので。ピアノとコーラスは2年生くらいまでは続けたんですけど、そこからはテニスだけに絞りました。

ジュニアクラブというのがあって、水・土・日曜日と週3回、いろいろ教えてもらいました。そこに通うのが唯一の楽しみで、水曜日は18時から21時半まで練習したあと、22時まで5～6年生の上級者が大人と乱打みたいのをするんですけど、それにも参加して。土曜日は9時から17時までやったあと、その練習に来られなかった子のための夜間練習が18～21時にあるので、それにも行ってました。だから、1日。日曜日は、9時から17時までです。

## すごいですね…。

最初に出た試合が、補欠だったんですけど、上級者の人がケガで出られなくなって代わりに出たんですよ。ルールがわからなくて、わけもわからず負けたんですけど、それがすごく悔しくて。もっとちゃんと試合に出られるようになりたい！というのがきっかけでした。2年生から、4つ上の姉とペアを組んで試合に出させてもらうようになってから楽しくなってきました。4年生のとき初めて全国大会に出たけどぜんぜん勝てなくて、5年生のときは6年生とペアを組んで2位になったんです。それまでは、楽しくできればいいという感じで、あまり上を目指したりはしていなかったんですが、初めて勝っていく喜びみたいなものを味わって、優勝したい！って思うようになりました。

でも、6年生のときもまた2位で。そこからずっと2位なんですよ、私。団体戦では優勝もあるんですけど、中学は3位、高校ではまた2位で、この間の全日本社会人選手権大会も2位……。個人戦ではまだ1位を取ったことがないんです。だから今は「1位を取るために」っていう感じなんですけど、私の年齢だと、テニス界では最年長の年なんですよ。私は「できるところまでやらせてもらいたい」って意思表示をして、監督が残らせてくださったんですが、同じ年の子たちは、去年度で一気に引退しました。もう、背水の陣です（笑）。

## じゃあ、今年は勝負の年ですね。

今年は世界の大会がないんです。アジア競技大会がいちばん大きい大会で「ソフトテニスのオリンピック」といわれているんですが、それが来年あるので、そこまでできれば…とは思ってます。年齢的なものもあって疲労が抜けなくなってきていて、これまでの蓄積で痛みが出たりもしているので、いつまでできるかわからない状態なんですよ。昔は何時間でも練習できたんですけど、チームの若い子たちと一緒にトレーニングしても疲れ方が違うっていうか…。今年に入ってから、急にきました。だから、今は目の前のことを一歩ずつという感じで、今年度あるいちばん大きい大会の全日本選手権大会でタイトルを取ることを最大の目標にしています。

## 逆に、年齢やキャリアがプラスに働く面はありますか？

上になってくるにつれ、経験は増えますよね。今、ペアを組んでいる子は6歳下なんです。その子が、たとえば試合中にミスが続いたりしてワケがわからなくなってきたときの声かけなんかは、ほかの子たちに比べたらできるかな。土壇場になったときに「前はこうやって失敗したな」とか、そういう経験はあるので、アドバイスができることもあります。

## 頼りになるキャプテンですね。

それはわからないですけど…。私、あまり器用じゃなくて、リーダーシップをとってチームをまとめるとか、すごい苦手なんです。だから、テニスに取り組む姿勢を見せることしかできないので、たとえば練習でもいちばん声を出して盛り上げたり、いちばん早くボールを拾ってテキパキやったりとか、そういうところをしっかりとやっていこうと思っています。ことばで伝えるのは難しいけど、そういうところを見て



「私も頑張らなきゃいけない」という風に思ってもらえるように、背中で見せて引っ張っていこうと。

若手選手の方が私より実力があるので技術とかは教えられないから、考え方とかは、気づいたときに「今

のは違うよ」とか、しっかり言うように心がけてます。

### **カッコいい…♡皆さん、人柄にもホレて応援したくなっちゃうんでしょね。**

テニスだけでなく、人としても応援してもらえるようでないといけないというのは常日頃から監督に言われていますし、いろんな方の支援がないと私たちは活動できないので、「応援してもらえるチームにしたい」というのは、すごくあります。おかげさまで今はたくさんの方に応援してもらって、最高の環境でテニスも仕事もさせてもらっています。地域の方々がいなかったら、今の私たちはいませんでした。

テニス界でも「どん北」と言われて注目されているんですけど、「どんぐり北広島」のゼッケンをつけて活躍することで北広島町が全国や世界へ広がっていくと思っているので、感謝の気持ちを持ってしっかりプレーすることが私たちの仕事だと思っています。町民の皆さんには「いつもありがとうございます！」という気持ちを伝えたいです。



▲どんぐり北広島ソフトテニスクラブ、通称「どん北」の皆さん。後列左端が中本裕二監督。水間奈津紀コーチ、濱万里子トレーナーの隣、後列左から4人目が主将の榎本さん。

### **これから移住を考える方へのメッセージをお願いします。**

北広島町をソフトテニスの町にしたい、なってほしいというのがクラブの思いです。

豊平中学校はすごく熱心に頑張っていて、先日も山県郡大会で優勝して、広島県大会に向けて合宿を計画中です。私たちと一緒に練習やミーティングをしようということで準備を進めているんですが、本当にみんな頑張っているの、全国大会も夢じゃないと思うんですよ。今のキャプテンは、他地区からテニスをするために豊平へ引っ越してきた子なんです。これからも、たとえば、どん北があるから豊平中学校に入ってテニスをやりたいとか、小中学生がテニスをするためにこの町へ来てくれるような町にしていきたいです。



▲勤務先である豊平中央公民館の前で。明るく爽やかな笑顔で迎えてくれますよ。ぜひ公民館へ♪

新庄高校もインターハイに出たりしていますが、合宿に来てたりするので、そういうつながりがどんどん広がっていったらいいなと思います。

一般の方向けにも、毎週木曜日 13~15 時に千代田運動公園で中本監督がクリニックを開催しています。観戦をきっかけに「やりたい」と言ってくれる方もけっこういて、逆にクリニックに参加している市内在住の方が広島市内での大会へ応援に来てくれたりと、つながりが広がっています。「ソフトテニスの町」を実現のため、これからも皆さんと一緒に頑張っていきたいです。

※注1 「サンクス」…北広島町有田（千代田地区）にある2階建てのショッピングセンター

※注2 「コムズ」…広島市安佐北区・飯室にあるショッピングセンター。豊平からは30分程度。

▲榎本 有花（えのもと ゆか）さん 20代

移居前：和歌山県→広島市

現住所：北広島町阿坂（豊平）

移住年月：平成27年3月